

重点施策 14 文化財の保存及び積極的な活用

【施策方針】

国重要文化財に指定されている日土小学校の校舎見学会や梅之堂三尊仏の一般公開等、文化財の保存・活用に努めるとともに、唐獅子・五ツ鹿共演大会等を通じ伝統的行事や文化の継承を図り、旧白石和太郎洋館を中核とした保内町の古いまちなみの保存、紹介を行う。

【実施状況】

(1) 主な施策・事業

文化財の保存、継承

- ① 重要文化財日土小学校校舎見学会
- ② 梅之堂三尊仏の一般公開
- ③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開
- ④ 文化財保護審議会の開催
- ⑤ 歴史的建造物の保存、整備

(2) 主な施策・事業の実施状況

① 重要文化財日土小学校校舎見学会

平成 24 年、戦後木造建築として初めて国重要文化財に指定された日土小学校は、全国から多くの見学依頼が寄せられているが、現役の小学校であることから、児童への影響を考え原則非公開とし、長期休暇の間に年 3 回見学会を開催した。平成 30 年度は 658 名の見学者があった。

② 梅之堂三尊仏の一般公開

国指定重要文化財である梅之堂三尊仏の一般公開は、5 月から 12 月の第 2 日曜日及び 8 月 15 日、10 月 19 日の合計 10 回行った。

③ 旧白石和太郎洋館管理、一般公開

市指定文化財旧白石和太郎洋館については、毎月第 2・第 4 日曜日に一般公開し、随時イベントや会議用に貸し出しを行った。旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日にまで遺すものとして、公開は無料とした。

洋館の管理は、一般から募集した管理者に委託している。(旧白石和太郎洋館管理委託料 240 千円) また、まちなみ見学用駐車場及び公衆トイレ管理業務についても、同じくこの洋館の管理者に委託した。見学用駐車場と公衆トイレは、旧白石和太郎洋館を中核とした旧保内町のまちなみの見学者・来訪者専用につ造ったものである。(まちなみ見学用駐車場及び公衆便所管理業務委託料 240 千円)

④ 文化財保護審議会の開催

有識者による文化財保護審議委員を各分野から選任し、文化財の保護、新しい市文化財の指定及び指定の解除等について議論をし、文化行政に反映させる意見や助言をいただいた。

⑤ 歴史的建造物の保存、整備

市指定文化財「菊池清治邸」について改修事業に着手した。また「宇都宮壯十郎邸」についても修繕を行い、活用を図ることとした。

【事務事業点検評価委員意見】

- 日土小学校の校舎は、国重要文化財として価値のある建物である。建築家が、「子どもが快適に暮らせる、人に優しい空間とは何か」ということを考えて建設したと聞いている。
今でも、全国から多くの見学依頼があるということは、素晴らしいことだと思う。実際に、学校生活を送っている児童や教職員の方々の声や、見学者の感想なども発信すると、校舎見学会が一層生きたものになると思われる。
- 国指定重要文化財梅之堂三尊仏の一般公開については、広報などに掲載する際、興味をもてる紹介の工夫をすることで、参加が増えるようにしてほしい。
- 白石和太郎洋館は、旧保内町の繁栄、栄華の跡を今日まで残すものとして、非常に貴重な建物である。公開が無料であるのは、見学者にとってありがたい配慮である。また、見学者、来訪者専用のトイレや駐車場も完備してあるのが、ありがたい。
- 文化財保護審議会については、今後も、文化財の保護などに向けての意見や助言をいただきたい。
- 文化財は、「守ること」と「生活の中で生かすこと」が共存できれば望ましい。市民の文化財を大切に思う意識が高まることで、環境整備も行われ、地域おこしへとつながっていく。
菊池清治邸は、建物保存だけでなく、浜之町、船場通り、本町、大法寺等を含む「伊予の大阪・港町」というエリアづくりを考えてほしい。

【自己評価】

- 市内には各所に貴重な建造物が残り、市の発展の歴史を伝えている。菊池清治邸、旧宇都宮壯十郎邸は、活用を視野に入れた改修や保存を行っており、地域の中で面的な活用をしていくことで、魅力の発信や掘り起しをしていきたい。
- 市内には、梅之堂三尊仏をはじめ、様々な分野の貴重な文化財が守り伝えられている。それらの詳しい情報を入手したり、見学会などを通じ身近に触れたりできるよう、資料の紹介や周知発信の方法を工夫していきたい。